

花咲だより

学校の教育目標 なかまと共にやりぬく子
かしこく やさしく たくましく

にこにこの笑顔、ぽかぽかの心になる学校をつくりたい！

新たな仲間や担任との出会いから一か月が経ちました。元気よくあいさつする姿、しっかり話を聞いて学習に取り組む姿、自分の係の仕事や掃除をやりぬこうとする姿、様々な子どもの姿に願いが込められていることを強く感じます。一年生を迎える会では、にこぽかレンジャーのみなさんが、明るく楽しい学校にしようと、にこにこビームやぽかぽかビームを全校の子どもたちに浴びせました。全校のみなさんと一緒に、にこにこの笑顔やぽかぽかの心になる学校をつくっていきます。



「たい」⇒「夢、目標、めあて」を話したり書いたりしてみましょう！

授業参観、PTA総会にご参加いただき、ありがとうございました。PTA総会では、校長から今年度の方針について少しお話をさせていただきました。子どもたちに機会があるごとに話しているのは、「願い」をもつことです。「～をがんばりたい」、「こんな自分になりたい」、「こんな学校をつくりたい」といった「たい」がつく「願い」（夢、目標、めあて）をもち、やりぬいてほしいと伝えています。子どもたちが、夢や目標を書いたものを読むと「サッカー選手になりたい」、「ケーキ屋さんになりたい」といった将来の職業を描いている人もいれば、「今はないので、これから考える」という人もいました。子どもから見た社会は、ほんの一部ですから、様々な社会や世界を知って、学んで、自分のやりたい夢をじっくり見つけてほしいと思います。「算数の学習をがんばりたい」、「拳手をがんばりたい」など、授業の目標をもつ人もいました。「夢、目標、めあて」を話したり書いたりすると、実現に近づくことも伝えました。今、「夢、目標、めあて」や好きな絵を募集し、校長室や前の廊下に掲示するコーナーを作成中です。子どもたちの「たい」がいっぱい実現する学校にしていきたいと考えています。ご家庭でも、実現したい目標を紙に書いて貼ってみませんか。

理想の世界 目ざして学ぶ ～子ども主体の学校づくり～

「理想の世界 目ざして学ぶ」。校歌の1番の一節です。子どもたちが、大人になる頃にはどのような社会になっているのでしょうか。子どもたちには、変化の激しい社会の中で主体的に課題を見つけ協働的に解決を図るような力を育成することが必要だといわれています。そのためには、小学校の段階でも、子ども自身が、自ら課題を見つけて学ぶことが重要です。子どもにも、それぞれの世界があります。理想の世界を描き、自ら学べる学校をつくりたいと思います。学校は、様々な学習、活動等が積み上げられ、指導内容や仕組みが硬直化している部分があります。もっと子どもに「どのような学びをつくりたいか」、「どのような学校をつくりたいか、そのために何がしたいか」を委ねて、子どもが、「自分にはこんな力があったんだ!」、「自分たちでつくるのは大変だったけど、行動することで変えていけるんだ!」と感じられるようにしたいと考えています。そのために、「新チャレ2025」（新しいチャレンジをしよう!プロジェクト）と題して新たな活動や取組を推進していきます。保護者の皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。